

「高砂の魅力再発見プロジェクト」 高砂市民センター×宮城野区中央市民センター

1 事業概要

高砂地区は昔から米や魚の運送で栄えた緑豊かな田園地帯でした。歴史も古く、数々の遺跡も発掘されています。仙台新港の建設や都市整備計画などによりJRの駅の近くは都市化が進む一方、海沿いの地域は東日本大震災により、まちの風景がすっかり変わってしまいました。近年は被災地として語られることの多い高砂地区ですが、それだけではない魅力を地域住民と共に再発見し、広く発信していくことを目指しています。



2 令和6年度の活動

4月に高砂の地域を知るため地元の方の案内のもと、市民センターから七北田川沿いの桜並木を目指してまち歩きをしました。昔の写真と比較しながら当時の暮らしぶりや思い出などを聞き、参加者たちは楽しく歩きました。

7月は地元のお寺へ行き、歴史についての話を聞いた後に写経体験をしました。しんとした静寂の中で行う写経は自分と向き合う良い機会となりました。

10月には高砂地域の地形を見ながら過去に起きた災害や今後起こりうる自然災害などを学ぶ講座を行いました。普段何気なく歩いている道にもかつての河川の氾濫の痕跡があり、そのことから将来的に起こりうる自然災害を予測し備えることが大切であると学びました。

12月には、震災以降に姿を変えた蒲生地区を地元の方に案内してもらいながら散策しました。3月には、岡田に関する地名の講座を予定しています。



3 成果と課題

まち歩きや地元についての講座を行うことにより、参加者、企画員ともにその都度新しい発見があるようです。参加者の中にはリピーターも多く、「高砂」という地域に対して関心が深まった様子でした。しかしながら高砂の地域は範囲が広いため古くからある神社仏閣や遺物・遺跡などはあちらこちらに点在しており、なかなか取材やまち歩きによる見学等ができない状況です。また令和7年度は高砂市民センターが大規模改修工事の為に1年以上休館となります。今後どのような活動の方法があるのかが課題となっています。



4 今後の展望



令和7年度はこれまでの2年間に撮影した写真や地域の方から提供された写真などを活用して写真展示会を開催する予定です。この講座は「高砂のお役立ちMAP」を作成することを最終的な目標としています。そのため今後のまち歩きや地元に関わるお話を聞きながら情報を集めていきMAP作りのための準備をしていく予定です。